

取扱説明書 Ver 1.00

TP-430

# TAKIBIタープ オクタ



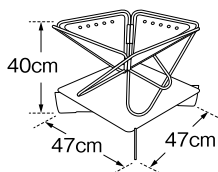
この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、キャンプ用のタープです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

**安全上の注意事項** ご使用前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

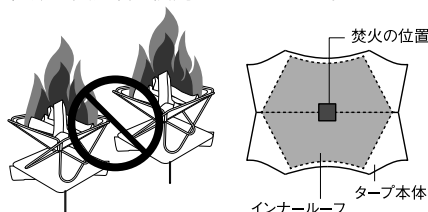
**⚠ 危険** 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

●本製品のインナールーフには難燃性の生地を使用していますが、不燃素材ではありません。火気や熱源に近づけると引火や火災、穴あき等の原因となります。以下の要綱を必ず守ってご使用ください。

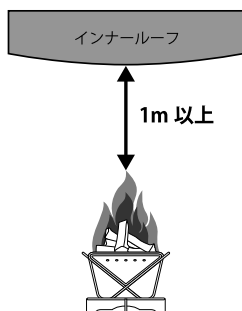
●本製品は台座も含め全体のサイズが47×47×40(h)cm以内の焚火台の使用を想定しています。それ以上のサイズの焚火台は使用しないでください。



●タープ本体は難燃性ではありません。焚火をする際は必ずタープ本体にインナールーフを取り付け、焚火はタープの中央でのみ行ってください。また、複数の焚火台を使用しないでください。



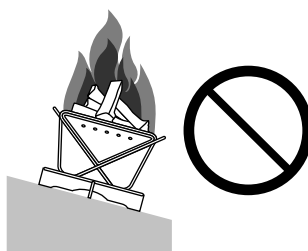
●焚火の炎が大きく、インナールーフに近いと生地に穴が空く可能性があります。焚火の炎を調節してインナールーフから炎を1m以上離してください。



●インナールーフはタープ本体の全域をカバーしていません。風が強く、炎が焚火台の外に大きく揺らぐ場合は焚火を中止してください。火の粉がタープ本体に当たり、タープ本体の穴あき、火災の原因となる可能性があります。



●傾斜のある地面に設営しないでください。火の粉がインナールーフで覆われていないタープ本体にかかる恐れがあります。また、タープや焚火台は必ず平坦な地面に設営してください。



●焚火を行う際は、必ず280cmのウイングポールをご使用ください。短い長さのウイングポールを使用すると、炎がインナールーフに近すぎ、火災や生地の破損の原因となります。

●タープ本体の素材は難燃素材ではありません。インナールーフを使用しない場合は、タープの下で焚火を絶対に行わないでください。また、燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎から遠ざけて使用してください。

**⚠ 警告** 場合により重大な事故に至る行為を示します。

- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想されるときは速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。
- タープは表面積が大きく体感風量よりはるかに大きな力を受けます。ご使用中はペグやロープがしっかりとつなげられているかどうかを点検してください。強風下ではタープの使用を中止してください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。

**⚠ 注意** ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。タープの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こします。
- 日差しによりタープの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで設営・撤収をしないでください。火の粉を被り、生地に穴をあけてしまう場合があります。
- タープの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようポールをしっかりと支え、ペグを確実に打ち込んでください。ポールが倒れたり、ポールの先端がハネ返るなどして思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認して作業してください。
- ペグとロープでしっかりとタープを固定してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損する恐れがあります。ご注意ください。
- 足もとの設営用ロープやペグにはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。

## 初めてお使いになる前に

- 品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りをを行い、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合や付属品の欠品があった場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 本製品にはポール・ペグ・ハンマー等は含まれておりません。

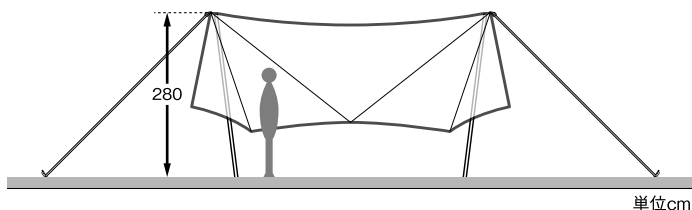
□基本的な設営には別売りのウイングポール×2本、ペグ×8本が別途必要です。  
下記の推奨サイズをご参考の上、ご用意ください。

□推奨ポール・ペグサイズ

280cmウイングポール×2本

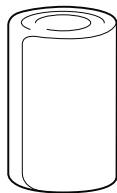
打ち込み長さ25cm以上のペグ×4本(各コーナーのロープに使用)

打ち込み長さ35cm以上のペグ×4本(メインコーナーの二又用ロープに使用)

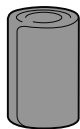


## セット内容

セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。基本的な設営には280cmウイングポール×2本、ペグ×8本が別途必要です。上記推奨サイズをご参考のうえ、ご用意ください。また、ペグやロープ自在は消耗品です。常に予備を携行することをお勧めします。



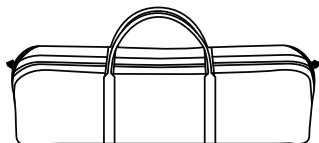
タープ本体



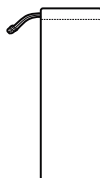
インナーロープ



自在付ロープ  
(二又用10m×2、二又用7m×2、3m×4、2m×4)



キャリーバッグ×1



ポールケース×1

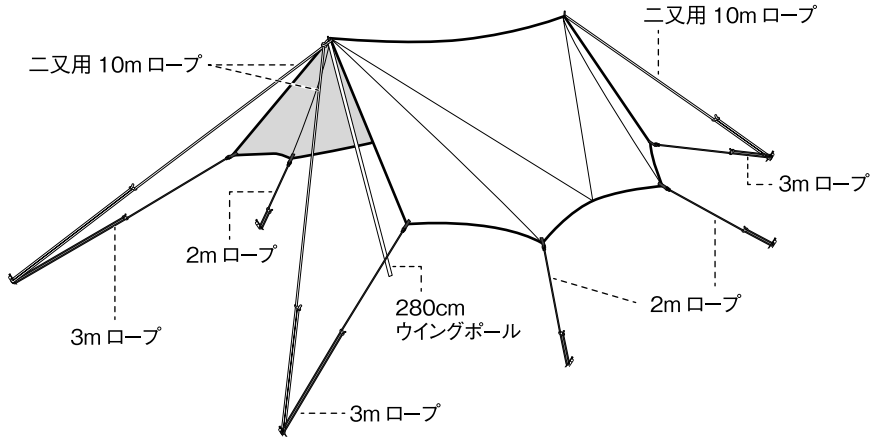


ペグケース×1

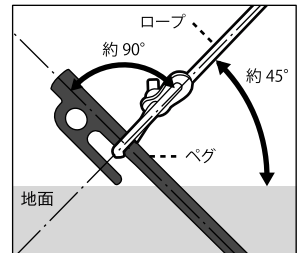
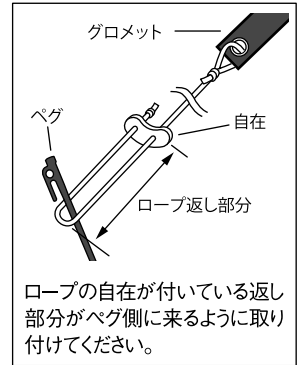
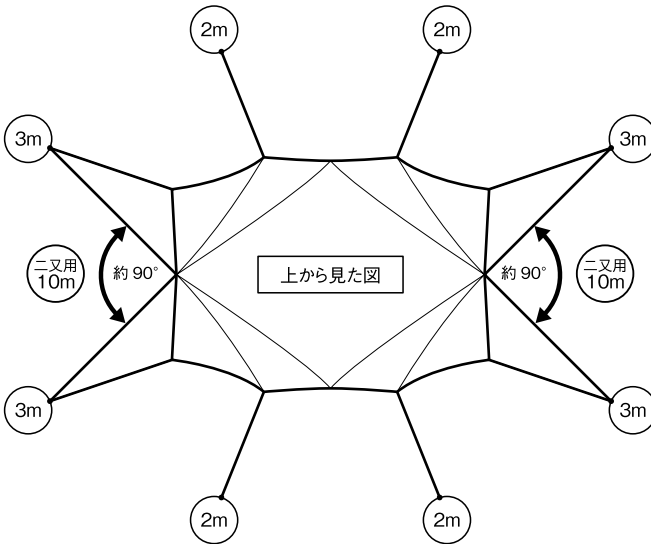


取扱説明書(本書)×1

## 自在付ロープ・ペグダウンの位置



各ロープの固定、ペグダウンの位置は下図のように行ってください。



※二又用ロープのロープ間の角度が上から見て90°以上広い位置でペグダウンするとウイングポールにテンションが伝わらず、正しく設営することができなくなりますので注意してください。

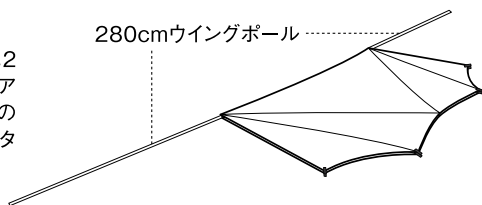
※ペグダウンはタープからできるだけ遠くに行ってください。設営したとき、ロープの角度が地面に対して約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンします。

## 設営の手順 より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

設営・撤収は以下の説明に従い繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。また、付属品が全て揃っているか前もってご確認ください。無理な設営・撤収は本体やフレームや本体の破損や事故の原因になります。本書をよくお読みになりご使用ください。

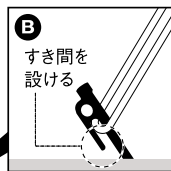
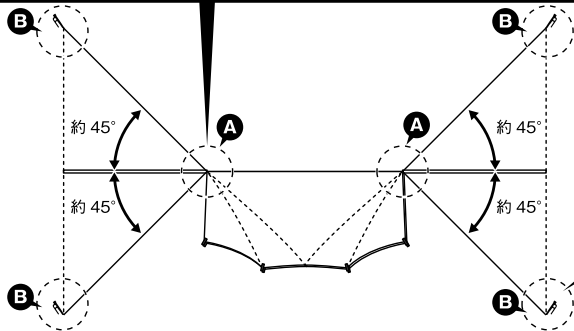
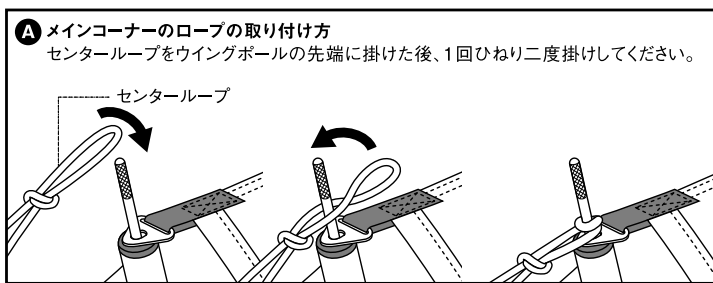
### ① タープを地面に広げます。

タープ本体を設営する平坦な場所に図のように2つ折りの状態で広げてください。風の向きやレイアウトを考慮してタープの向きを設定してください。この時、280cmウイングポールも先端をタープ側にし、タープの稜線と一直線になるように置いてください。



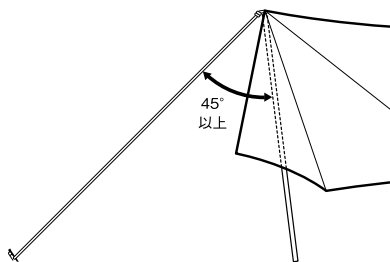
### ② ロープを取り付けます。

ウイングポールの先端をメインコーナーにある三角金具に差し込み、その上から二又用10mロープのセンターループを掛けてください。(2カ所)その後、ロープをウイングポールを中心に約45°開いた方向へロープの先端とウイングポールの下端が一直線になる位置まで伸ばし、返し部分をヘグダウンしてください。※後で他のロープも掛けられるように、ヘグは完全には打ち込まず、すき間を設けてください。

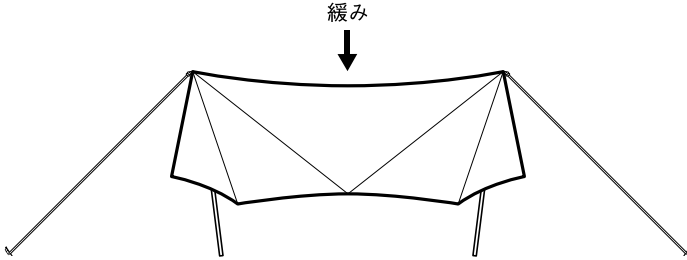


### ③ ウイングポールを立ち上げます。

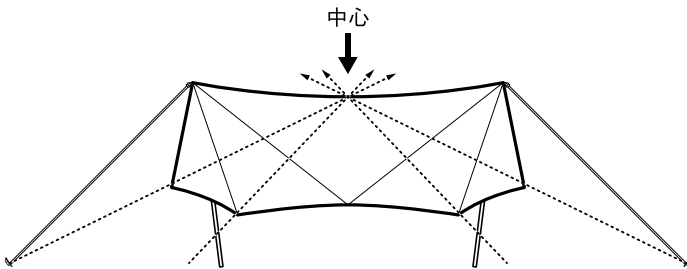
各ロープを一度緩めた後、ウイングポールを下端がタープの内側になるように1本ずつ立ち上げてください。その後、二又用ロープの自在の位置を調節してテンションをかけてタープを自立させてください。ウイングポールを立ち上げる人と二又用ロープの長さを調節する人で分かれて声を掛け合いながら作業をしてください。



- ④ タープの稜線を緩ませます。  
二又用10mロープの自在の位置を調節し稜線を2割程度緩ませた状態にします。この緩みが完成時の美しい曲線を作ります。



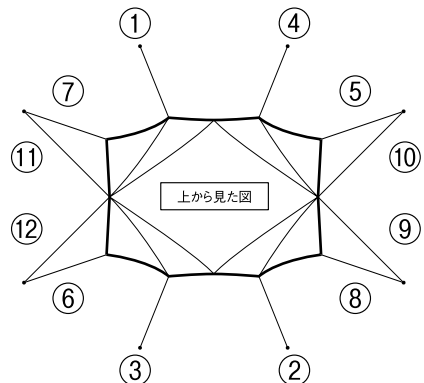
- ⑤ 各コーナーにロープを取り付けペグダウンします。  
4ページの「自在付ロープ・ペグダウンの位置」に従ってタープに取り付けペグダウンしてください。ロープはタープの中心から両翼のコーナーを結ぶ延長線上(各コーナーのグロメット付テープの取り付け方向の延長線上)に引っ張ってください。  
※ロープを引く方向が狂うとシワの原因になり、正しく設営することができなくなりますので注意してください。  
※この手順の後、すき間を設けて打ち込んだペグを完全にペグダウンしてください。



- ⑥ 各ロープのテンションを調節します。  
3mおよび2mロープから図の番号順に自在の位置を調節してテンションを掛けてください。ロープは均等な力で引き、稜線の緩みが綺麗に取れた後に、二又用ロープのテンションを掛けてください。最後にすべてのロープをもう一度、図の番号順に引いてください。

※ロープの引き過ぎに注意してください。強く引き過ぎている場合は、その方向に大きなシワが発生します。シワの出ているコーナーのロープを緩めて、全体のテンションバランスを調整してください。

※タープが緩んだ状態やシワの入った状態で使用すると、タープ本来の機能が十分に発揮されず、風を大きく受けて倒れたり、雨が流れず溜まってしまう等、大変危険です。



## インナールーフの取り付け方法

インナールーフには難燃性のある生地を使用していますが、誤って取り付けられた状態で焚火をすると、火災の原因となる可能性があります。

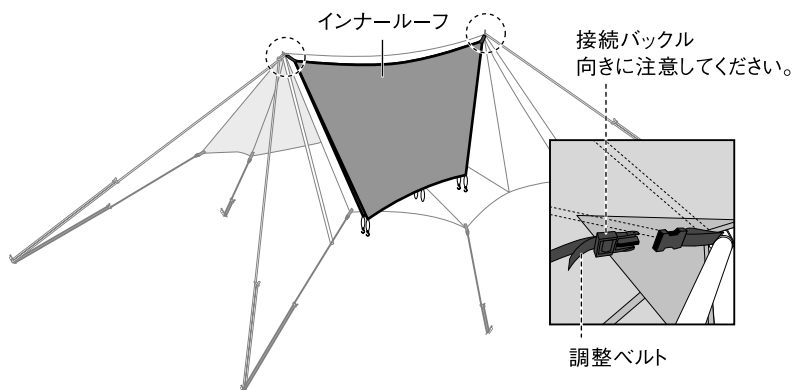
### ① インナールーフのバックルを接続します。

タープ本体のバックルに手が届くように一度ウイングポールを倒し、インナールーフの接続バックルをメインコーナーの内側に接続してください。接続バックルはベルトの端部が見える側が下になる向きで接続してください。(2カ所)接続した後、ウイングポールを立て直し、インナールーフの調整ベルトでテンションを調整してください。

※ウイングポールは一本ずつ倒して作業してください。ウイングポールの下端の位置にペグなどを刺しておくと、立て直す際が目印になります。

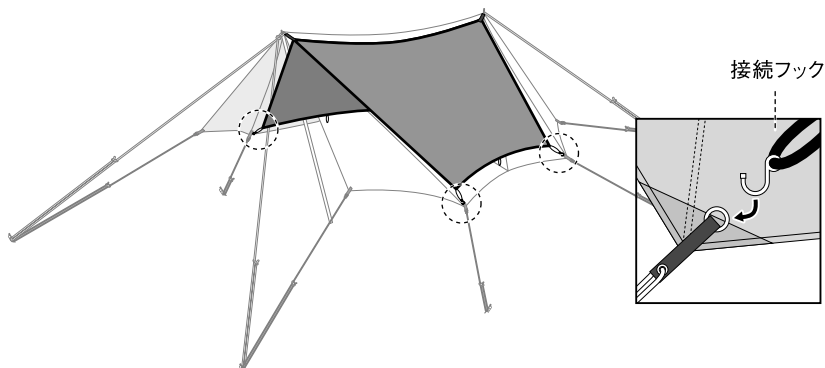
※接続バックルが付いているベルトがねじれないように注意してください。

※インナールーフの緩みすぎ、張すぎにはご注意ください。緩みすぎている場合、焚火との距離が近くなり大変危険です。張すぎの場合、タープ本体の稜線が緩みシワが発生します。



### ② インナールーフの各コーナーを接続します。

インナールーフの角にあるコーナーのフックをタープ本体の各コーナーにあるリングに引っ掛けてください。(4カ所)





## 両翼の中央を跳ね上げる場合

□両翼の中央を跳ね上げるにより、タープ下の空間を広げることができます。両翼の中央を跳ね上げる場合、通常の設営方法に加えてウイングポール×2とベグ×4が必要になります。下記の推奨サイズをご参考の上、ご用意ください。

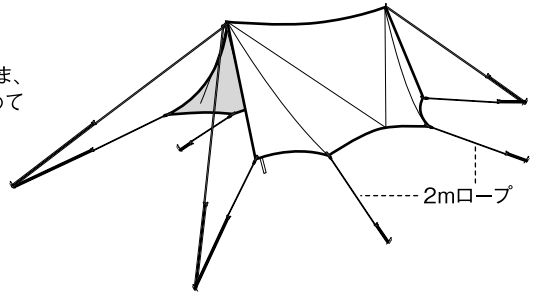
□推奨ポール・ベグサイズ

140cmウイングポール×2本

打ち込み長さ25cm以上のベグ×4本(二又用ロープに使用)

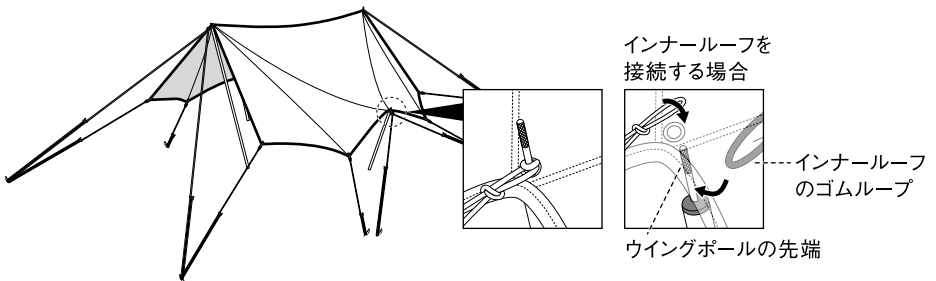
### ① ロープを緩めます。

ウイングポールを入れるため、ベグは刺したまま、タープに取り付けられている2mロープを緩めてください。(4カ所)



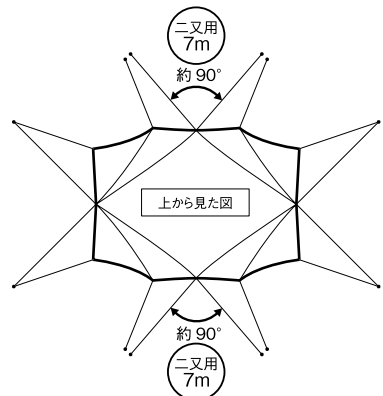
### ② ウイングポールを差し込みます。

タープ本体の両翼の中央にあるグロメットにウイングポールの先端を差し込んでください。その上から二又用7mロープのセンターロープを掛けてください。(2カ所)ロープ先端の返し部分を自在の位置を調節し、すべて同じ長さにしてください。インナーロープを取り付けている場合はウイングポールの先端にインナーロープ両翼の中央にあるゴムロープを掛けてからタープのグロメットに通してください。

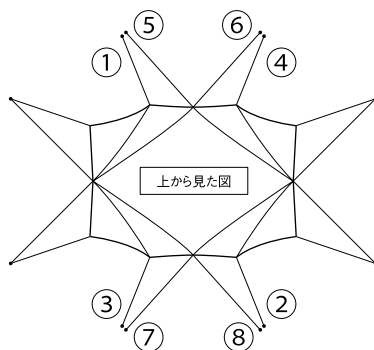


### ③ 二又用ロープをベグダウンします。

図を参考に二又用ロープをベグダウンしてください。両翼の内側のロープと共通のベグを使用します。必要に応じてベグを打ち直してください。



- ④ 各ロープのテンションを調節します。**  
3mおよび2mロープから図の番号順に自在の位置を調節してテンションを掛けてください。ロープは均等な力で引き、稜線の緩みが綺麗に取れた後に、二又用ロープのテンションを掛けてください。最後にすべてのロープをもう一度、番号順に引いてください。

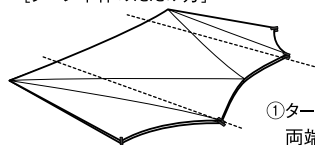


### 撤収の手順 必ず2人以上で撤収してください

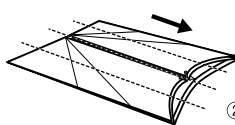
タープの下にもものがないことを確認してから撤収を始めてください。インナールーフの下で焚火台や燃焼器具を使用していた場合は、必ずタープの外へ移動させ、タープから十分に距離を空けてください。

- ① 両翼の中央を跳ね上げている場合は140cmウイングポールを倒し、二又用ロープとタープ、インナールーフのゴムループから先端を抜いてください。
- ② インナールーフを取り付けている場合は各コーナーのフックを取り外した後、バックルを取り外してください。バックルを取り外す際はバックルに手が届くように一度ウイングポールを倒してください。ウイングポールはバックルを取り外した後、再度立て直してください。
- ③ タープ本体のメインコーナー以外の各コーナーに取り付けているロープのペグを抜き、ロープを取り外してください。
- ④ 280cmウイングポールを倒し、二又用ロープとタープから抜いてください。
- ⑤ タープとインナールーフをそれぞれ二つ折りにした状態で地面に置き、キャリーバッグの長さに合わせてタープ本体を折りたたみ、キャリーバッグの中に入れてください。

[タープ本体のたたみ方]

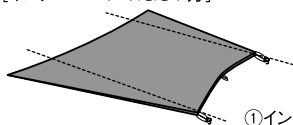


- ①タープの中央に向かい  
両端を内側に折ってください。

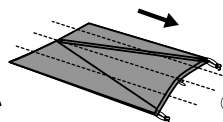


- ②縦に4つ折りし、矢印の  
方向に巻いてください。

[インナールーフのたたみ方]

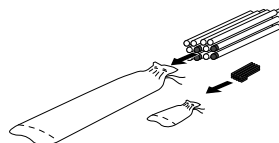


- ①インナールーフの中央に向かい  
両端を内側に折ってください。



- ②縦に4つ折りし、矢印の  
方向に巻いてください。

- ⑥** ウイングポールやペグはそれぞれ付属のポールケース、ペグケースに収納してください。ポールやペグをむき出しの状態では収納するとタープ本体やインナールーフの生地を損傷することがあります。  
※ペグやロープの置き忘れにご注意ください。



## 撤収・収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- ペグは全て抜き、汚れを落としてペグケースに頭を下に向けて収納してください。ペグの紛失、抜き忘れにご注意ください。

## 応急処置

- 不測の事態により本体生地が損傷する場合がありますので、ガムテープやビニールテープ、添え木になるようなパイプなどのリペア用品を携行し、速やかに応急処置を施してください。損傷したまま放置すると、さらに大きく破れたり、修理不能になる場合があります。損傷の度合いが激しいものは速やかに撤収してください。
- 生地が破れてしまったり、穴があいてしまったときは、速やかにガムテープ等で生地の両面から貼り合わせるか、撤収してください。

## 撥水・防水性能について

- タープ本体の生地には高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能（撥水のしかたや耐久性）に若干の差が見られる場合があります。ご了承ください。また、長期にわたりご使用になると撥水性能が低下します。撥水性能が衰えてきたときは、市販の撥水スプレーなどを使用してください。スプレーをご使用の際はスプレーの注意書きをよくお読みください。
- タープ本体には防水性の高い生地を使用しておりますが、長期間雨水などによって集中的に高い水圧が加わりますと水が浸み込む場合があります。ご注意ください。

## 紫外線の影響について

- タープ本体の生地にはUVカット加工を施しています。UVカット加工は人体にとって有害な紫外線の透過を抑えるとともに、生地の強度劣化を緩和します。  
※UVカット加工は紫外線による人体の影響や素材劣化を防止するものではありません。
- タープ本体の生地は長期間日光にさらされた場合、退色や強度低下などの劣化を起こします。常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久限度を超えたものは修理できない場合があります。

## ポリエステル・コットン混紡生地について

- インナールーフには難燃性の生地を使用していますが、使用環境や使用方法により生地に穴が空いたり、損傷する可能性があります。本書の注意事項をよく読んでご使用ください。
- 煙やススなどの汚れが付着した場合は、汚れのある箇所に水で濡らした布などを押し当てて汚れを取り除いてください。
- 水気や湿気を含むことによるカビや異臭、汚れが発生しやすい生地です。十分に乾燥していることを確認してから収納してください。保管する際は極力地面から離れた乾燥した場所で保管してください。

## メンテナンス・保管

- 本製品は生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、若干の色移りが発生する場合があります。ご了承ください。
- 濡れたままでの保管はカビや異臭、生地の色移り、生地の劣化や汚れ等のトラブルの原因となります。使用後は必ず風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシ等で汚れを落としてから保管してください。
- ポールは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食し、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ご使用により、広範囲にわたり素材が劣化し、耐久限度を超えたものは修理できない場合があります。
- 次のキャンプに備え、上記の通り十分に保守、点検をしてください。

## 修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様、または弊社ユーザーサービスまでお問合せください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと分かるように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また、破損時の状況をできるだけ詳しく記したメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
  - 1.保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は、弊社にて負担いたします。
  - 2.保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

## 品質保証について

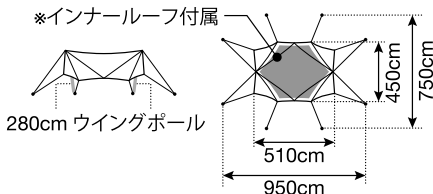
お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので予めご了承ください。

- 1.素材の経年劣化による損害など商品の寿命
- 2.改造および粗雑な取扱いによる故障
- 3.取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
- 4.不測の事故による商品の故障
- 5.その他製造上の欠陥以外による製品の故障
- 6.ゴミやさびによる故障
- 7.分解したことによる不具合の発生または破損
- 8.落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合
- 9.摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障
- 10.他社製品との組み合わせによる故障

## スペック

- 材質:タープ本体/210Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・テフロン撥水加工・UVカット加工、インナールーフ/ポリエステル・コットン混紡
- セット内容:タープ本体、インナールーフ、自在付ロープ(二又用10m×2、二又用7m×2、3m×4、2m×4)、キャリーバッグ、ポールケース、ペグケース
- キャリーバッグサイズ:83×25×26(h)cm
- 重量:8.9kg

○対応人数 6~8名



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。  
**スノーピークユーザーサービス**  
☎0120-010-660 (9:00~17:00)  
E-mail:userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456  
tel:0256-46-5858 fax:0256-46-5860  
www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA